

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		キッズリオンルージュ		公表日		2026年4月1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		利用人数により活動内容を工夫している	人数が多い時に体を動かす活動だと少し狭く感じる	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		5	運営規定通りに配置している	職員数が増えるとよい	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		活動と学習のスペースを分けている。スケジュールなどを文字とイラストで視覚的に提示している	室内はバリアフリー化されているが、駐車場から玄関に段差がある	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		活動と学習のスペースを分けており、毎日清掃と消毒を行っている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		必要に応じて、事務室や静養室・面談室を利用できるようにしている。	クールダウンできる個別のブースやスペースがあるとよい	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		毎日のミーティングを実施している		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		5		今回が初めての評価になるため、これを受けて改善につなげたい	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		職員間のコミュニケーションが取りやすい雰囲気作りをしている	今後個人面談を実施し、意見等を把握する機会を設けたい	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5		外部の研修には可能な限り参加している。次年度より法人で内部研修実施予定	外部の研修しやすいような職員配置になるとよい	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		HPで公表している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		利用開始前のアセスメントを行い、関係機関からの情報も得て計画を作成している		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		原案を作成し職員で話し合っている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		担当者会議後に全職員で情報共有し、支援の改善などを検討している		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		利用開始時に法人で統一したアセスメントを行っており、日々の様子は都度共有し確認している		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		5領域に沿った計画をし、担当相談支援専門員とも連携しながら作成している	支援の質を上げるためにも、職員増が課題	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		プログラムの実施担当を当番制にし、ミーティングで確認しながらシュミレーションしてから行っている		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		活動の記録をし、アレンジしたりレベルアップしたものを取り入れるなど相談して決めている。	曜日により利用者さんの特性などで活動が制限されることもある	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		毎日時間を決めて、個別活動と集団活動を実施している		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		毎日ミーティングで確認しシュミレーションしている		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	支援記録をしながら職員間で情報の共有、振り返りを行っている	送迎などで十分な時間が取れないこともあり、共有は出来るが検討は十分にできないことがある	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		気になることはその都度話し合いをし、振り返りで情報共有しながらしっかり記録している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		特性によりカードや指差しなどで選択できるよう、利用者に合わせた工夫している	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児童発達支援管理責任者が出席している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		担当者会議や必要に応じてケア会議などを行い連携を図っている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		年度初めや利用開始時に確認している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		必要に応じ利用開始前に会議を開いたり、文書などで情報の共有をしている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		移行支援会議へ参加し、情報の提供を行っている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		できる限り研修に参加している	今後必要があれば助言を得る機会を設けたい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5			機会があれば参加したい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		児童系協議会やワーキンググループに出席し、協議会からの報告などで情報の共有をしている	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時に毎回状況を伝え、状況の変化などに応じ連絡を取りながら共通理解を図っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		ペアトレは実施していないが、自治体や関係機関からの案内があれば都度情報の提供をしている	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		利用契約時に行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		アセスメントを行い計画に反映させ、計画の説明時に確認している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		相談があれば電話や面談で対応し、アドバイスや他機関へつなぐなどの支援を行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5			今後要望があれば法人本部と相談していく
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		管理者が窓口になり対応する体制を整えている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		アプリでその日の様子を文章と写真で配信、法人でインスタグラムを作成し、イベントの様子なども発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		特性や状況に応じた配慮をし、必要に応じて相談支援専門員や市担当者と連携して行っている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5			今後法人本部と相談・検討していく

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		定期的に内部研修や訓練を実施している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	2		机上訓練や部分的な訓練になってしまい、十分な訓練は実施できていない
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		使用開始時のアセスメントで確認、変更があれば都度情報の提供をお願いし確認している	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		家族を通して医師からの指示を受け対応している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		日々確認し、情報共有しながら必要に応じて改善を行っている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		日々のミーティングで情報共有・検討し、ヒヤリハット報告書を作成している	法人でアプリを使ったシステムを導入する
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		年2回の内部研修を行い、対応について不安がある時は職員間で話し合うようにしている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		保護者に説明し同意を得ている		